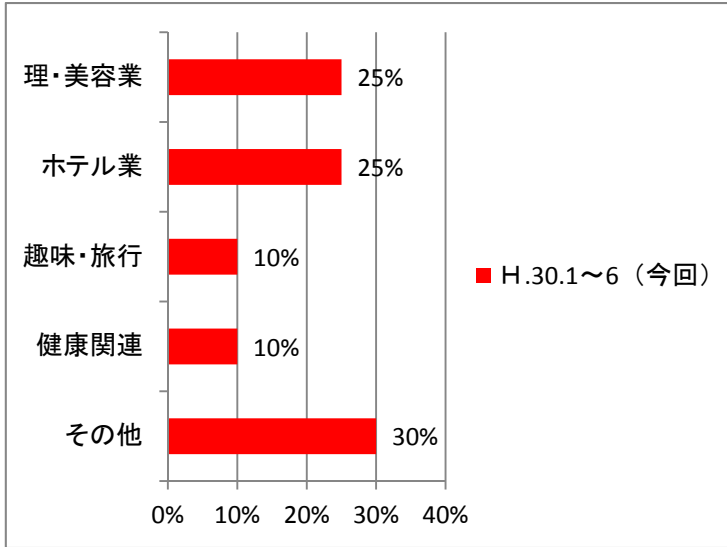


【平成30年7月実施 景況調査アンケート集計結果】

◆◆ サービス業 ◆◆

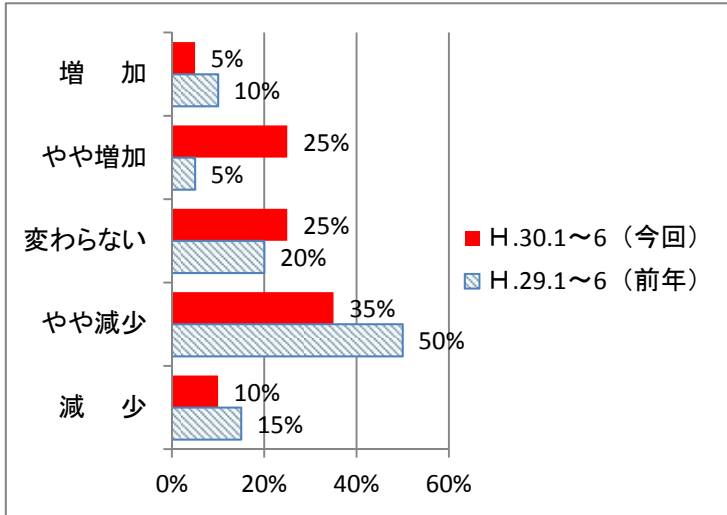
【分類別】



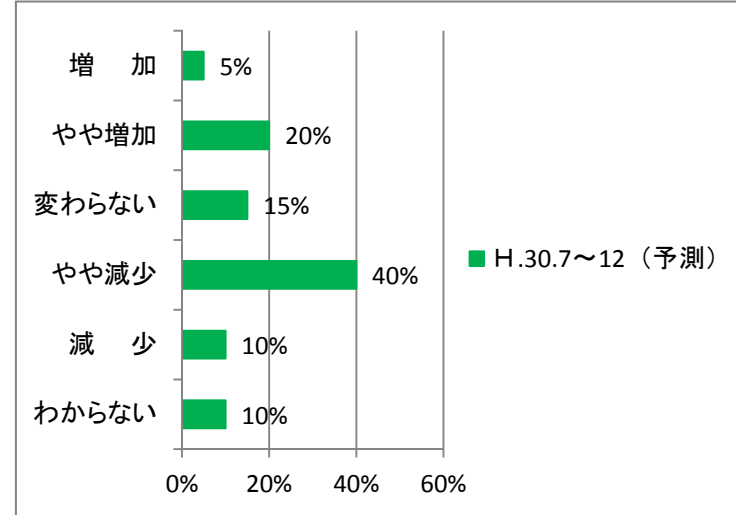
理・美容業25%、ホテル業25%、趣味・旅行10%、健康関連10%、その他(衣料品、クリーニング店他)30%

【売上】

今回結果と前年結果の比較



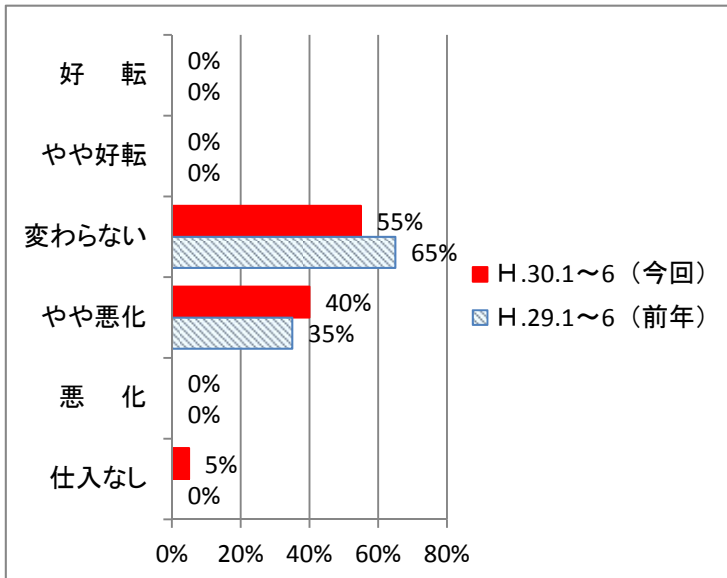
予測(平成30年7~12月)



前年より減少傾向の回答が下回り、「やや増加」が5%から25%に増えている。

【仕入】

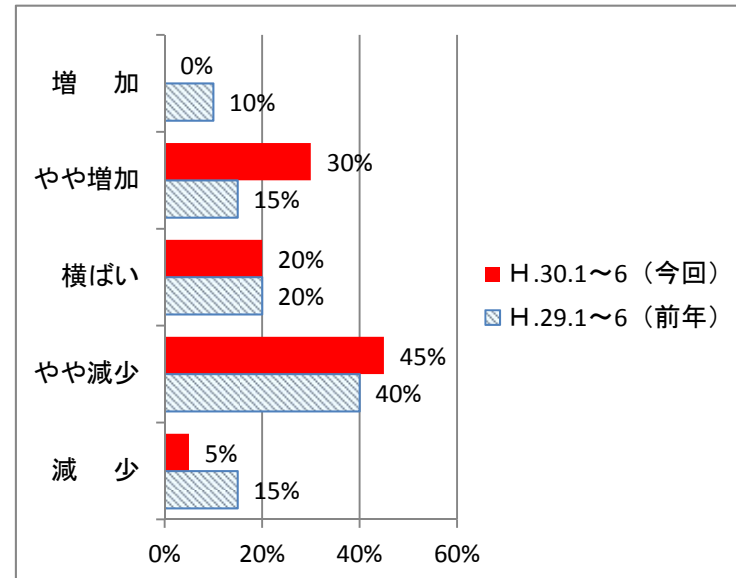
今回結果と前年結果の比較



「好転」「やや好転」が前年と同様の0%であり、「やや悪化」が40%を占めている。

【利益】

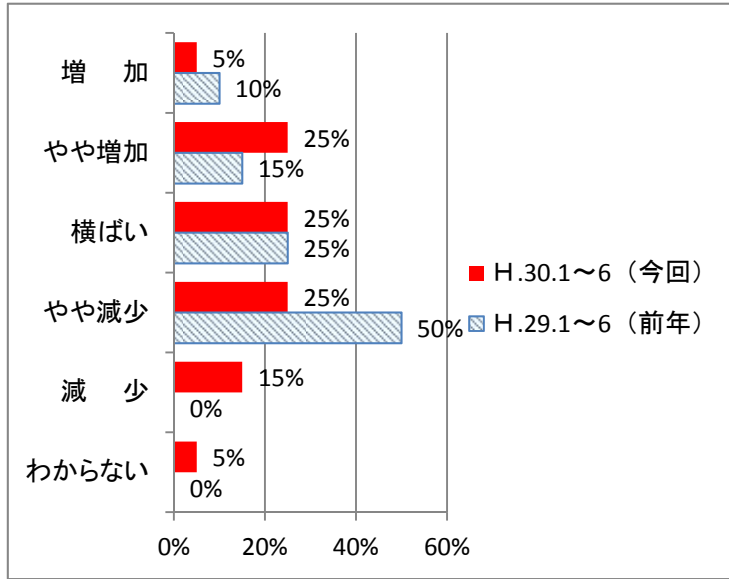
今回結果と前年結果の比較



増加傾向の回答が30%に増えているが、依然として減少傾向の回答が50%と半数を占めている。

【客数】

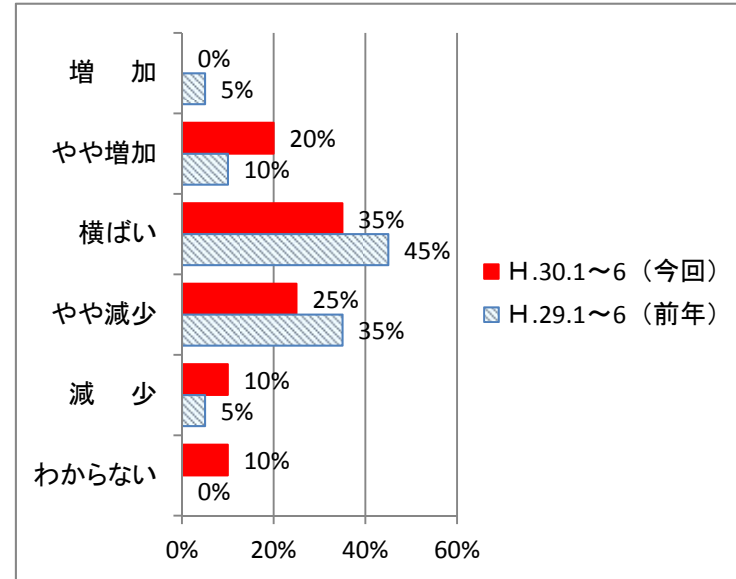
今回結果と前年結果の比較



減少傾向の回答が40%を占め、増加傾向の回答30%を上回っている。

【客単価】

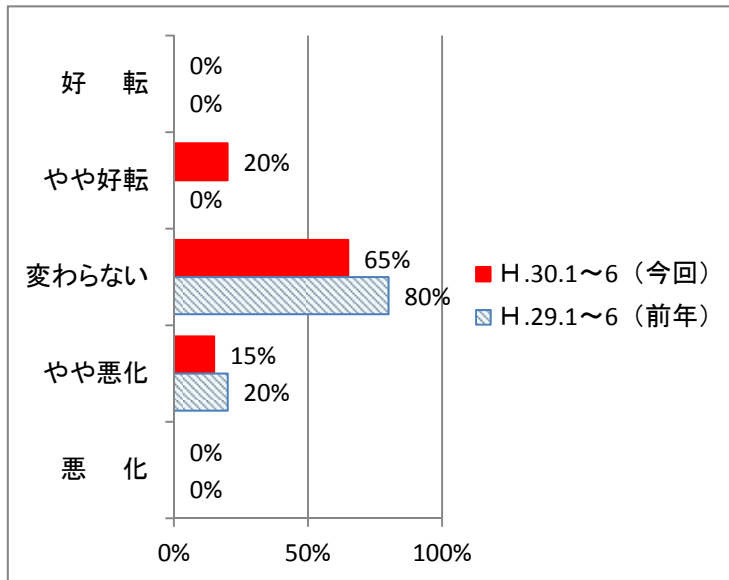
今回結果と前年結果の比較



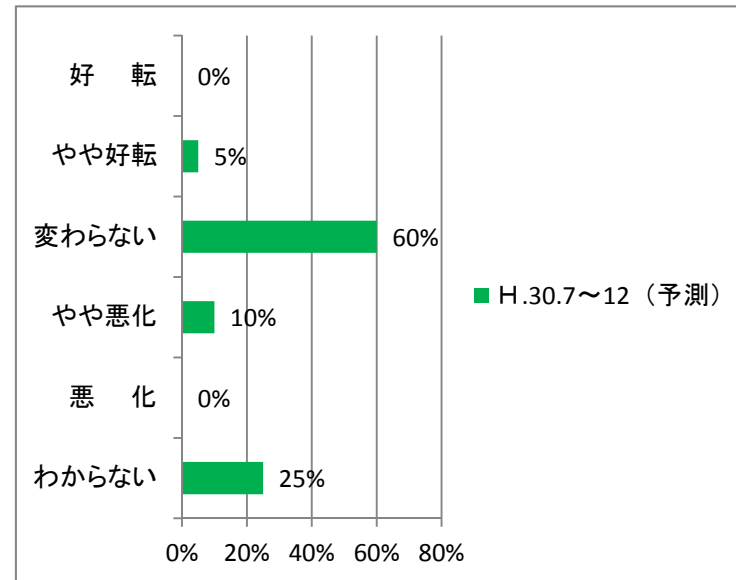
「やや増加」が20%に増えているが、減少傾向の回答が35%を占めている。

【資金繰り】

今回結果と前年結果の比較



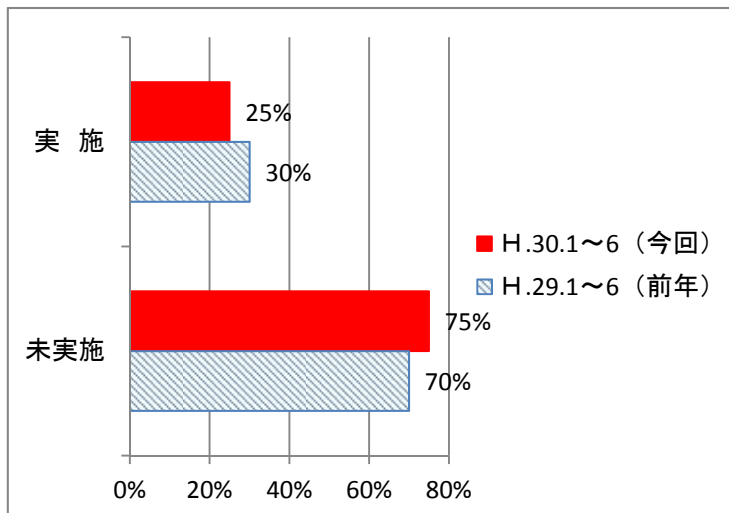
予測(平成30年7~12月)



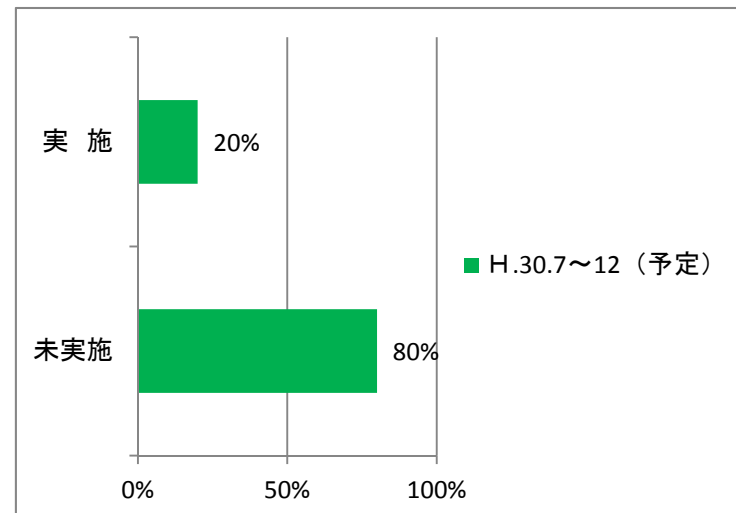
やや好転が20%に増え、やや悪化が15%という結果であった。65%の事業所が変わらないと回答している。

【設備投資】

今回結果と前年結果の比較



予定(平成30年7~12月)

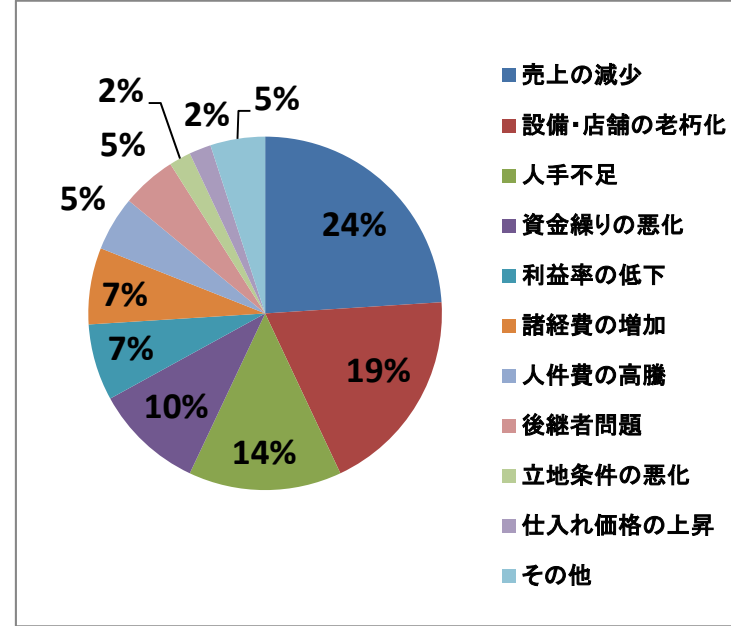
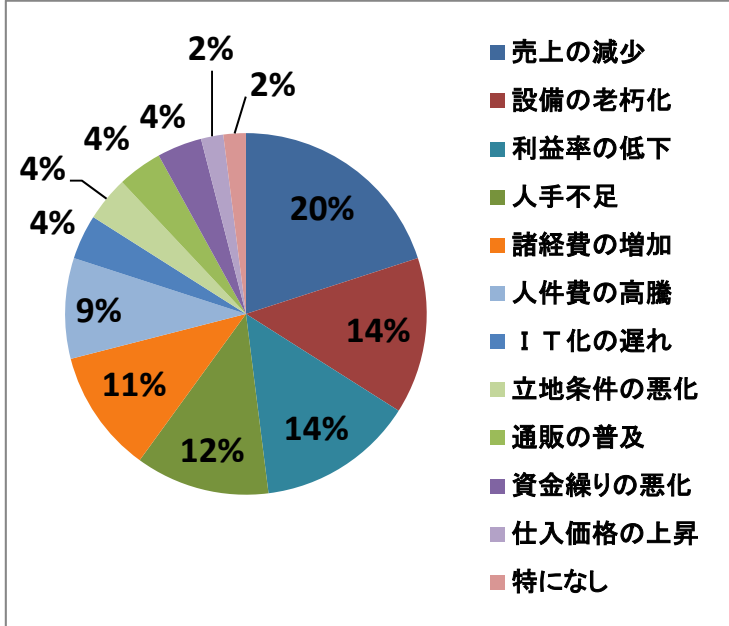


25%の事業所が設備投資を行っている。今後も20%の事業所が設備投資を予定している。

《 経営課題 》

今回(平成30年1~6月)

前年(平成29年1~6月)



売上の減少	設備の老朽化	利益率の低下	人手不足
20%	14%	14%	12%
諸経費の増加	人件費の高騰	IT化の遅れ	立地条件の悪化
11%	9%	4%	4%
通販の普及	資金繰りの悪化	仕入価格の上昇	特になし
4%	4%	2%	2%

売上の減少	設備・店舗の老朽化	人手不足	資金繰りの悪化
24%	19%	14%	10%
利益率の低下	諸経費の増加	人件費の高騰	後継者問題
7%	7%	5%	5%
立地条件の悪化	仕入れ価格の上昇	その他	
2%	2%	5%	

経営課題で一番多く挙げられたのが『売上の減少』で20%、次に『設備の老朽化』14%、『利益率の低下』14%という結果であった。